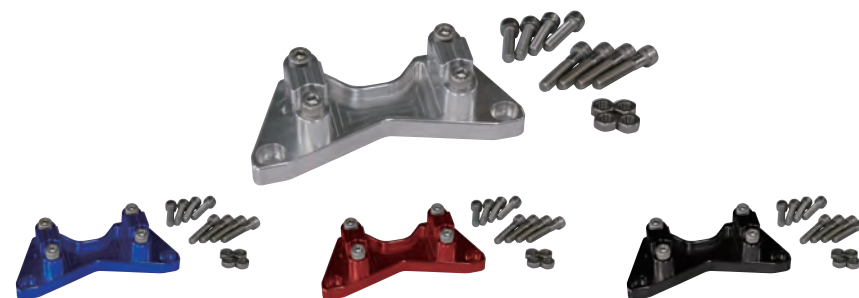


**UNLIMITED**

Personal Watercraft Performance Products

## ハンドルバーアダプターキット



**J-lines** 株式会社 東海機材

三重県四日市市羽津919-2 〒510-0012  
[代表]059-365-1002 [FAX]059-364-4175  
E-mail info@j-lines.com

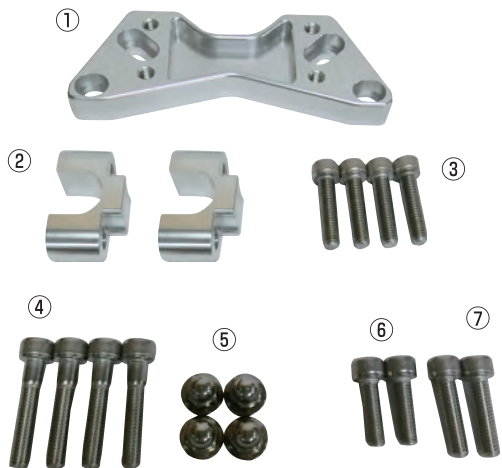
## 【UL35401】ハンドルバーアダプターキット

Kawasaki / ULTRAシリーズ

YAMAHA / GP1800、VXR、VXSシリーズ

### 取扱説明書(必ずお読み下さい)

#### ■構成部品内容



①	ベースプレート本体	×1
②	パークランプ (組付済み部品)	×2
③	ボルト (パークランプ用/組付済み)	×4
④	ボルト (Kawasaki用)	×4
⑤	ナット (Kawasaki用)	×4
⑥	ボルト (-25/YAMAHA用)	×2
⑦	ボルト (-30/YAMAHA用)	×2

#### ■取付作業の注意事項

取付はメーカー発行のサービスマニュアルに基づき、確かな知識及び技術を持ったメカニックで行なって下さい。

この製品は競技用目的に企画・製作されているため、艇体・機関等へのクレーム保証はございませんのでご注意ください。

- 1) 目的にあった正しい取り付け、関連法令を遵守の上ご使用下さい。
- 2) 上記を外れたその他の使用においては、商品の品質は保証することは出来ません。
- 3) 製品には、鋭利な箇所があるため防具を使用して取付を行なって下さい。

##### 取付前

- 4) 製品パーツの取付ネジが十分に締め付けられていることを確認してください。  
確実な締め付けをせずに取付作業をすると使用時に重大な事故に繋がりますのでご注意ください。  
★参考標準締め付けトルク(M6: 2.6N・m / M8: 6.2N・m)
- 5) エンジン停止後バッテリーを外し、エンジンが始動しない状態を確認の上、作業を行なって下さい。

##### 取付後

- 6) 必ず陸上でウォータークラフトのステアリングの動作に問題が無いかを確認した上で使用し、問題が発見された場合は、直ちにウォータークラフトの使用を中止し、問題改善を行なって下さい。

#### ■取付作業方法

⚠ 各モデルのサービスマニュアルを参照して下さい。

※全ての作業については適正な工具をご使用下さい。  
適切な設備がない、又は機械の取付けに熟知していない場合は必ず経験・知識のある販売店、又はPWC専門店に相談し、作業の依頼をして下さい。

- 手順1) 純正ハンドルカバーの取り外し
- 手順2) スロットルレバー、スイッチケースの取り外し
- 手順3) 純正ハンドルバーの取り外し
- 手順4) ベースプレートの取り付け (純正ハンドルバーマウントへ)  
※1 Kawasaki / 構成部品④⑤ M8-40ボルトとM8ナットを使用  
※2 YAMAHA / 構成部品⑥⑦ M8-30ボルトとM8-25ボルトを使用  
★参考標準締め付けトルク(M6: 2.6N・m / M8: 6.2N・m)



- 手順5) ハンドルバーの取り付け  
付属のパークランプを使用してベースプレートにハンドルバーを取付けて下さい。
- 手順6) スロットルレバー・スイッチケースの取り付け  
スロットルケーブル、スイッチハーネスに引っ張り等の負担が無いことを確認して下さい。  
※ULTRA310LXにおいてはオーディオアンプの配線も注意して下さい。

※1: Kawasaki艇装着例



※2: YAMAHA艇装着例



#### ■取付後の点検

取付後10時間毎に、各部のボルトの緩み等を必ず点検して下さい。